

# はつらつ座安っ子



【学校だより: 令和2年6月 第4号】  
豊見城市立座安小学校 校長: 具志直哉

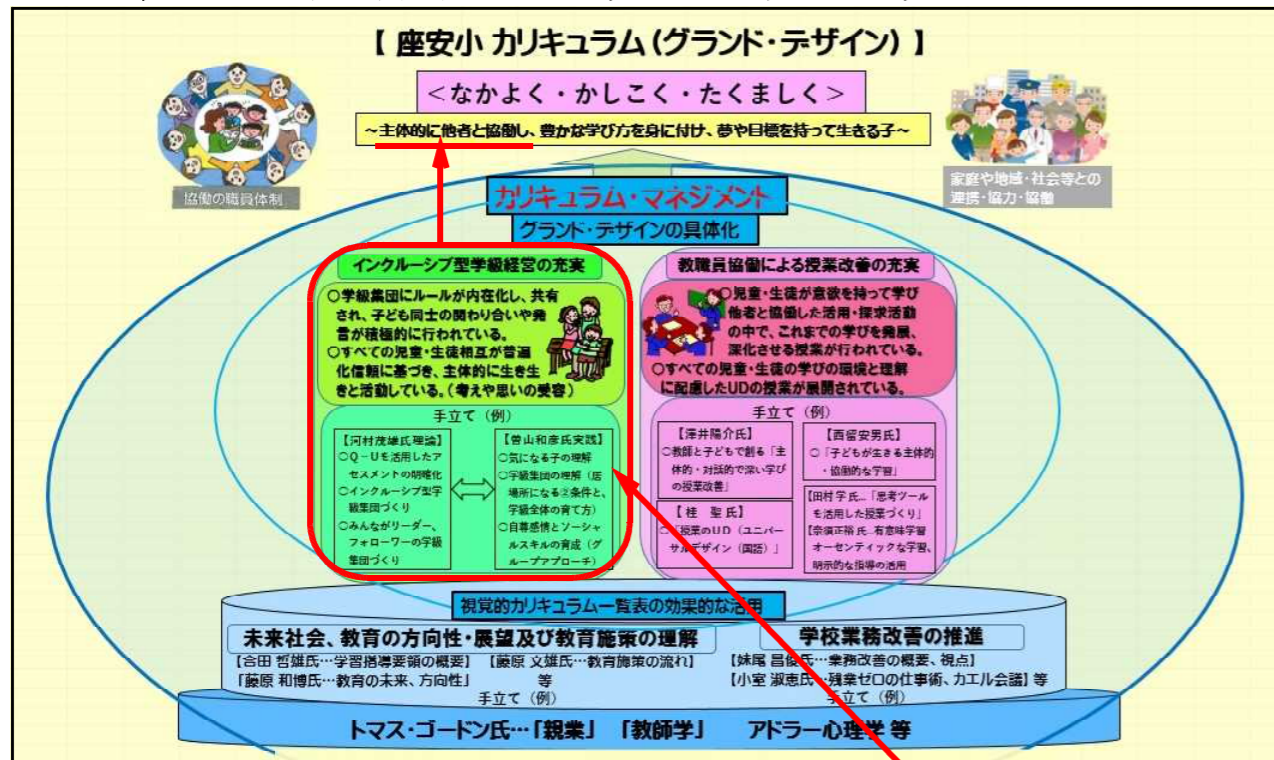
## なかよく かしこく たくましく

～主体的に他者と協働し、豊かな学び方を身に付け、夢や目標を持って生きる子～

座安小学校の全職員は、子どもたち1人ひとりを認め、受け入れ、持っている「可能性を拓き伸ばす教育」の実践をめざし、全力でがんばります！

座安っ子を中心に、教職員も一緒になってつくったコロナ感染防止のルール「ざやすスタイル」は、だいぶ子ども達にも定着し、習慣化しています。ご家庭でも引き続き「ざやすスタイル」の継続をよろしくお祈りします。また日に日に暑くなります。熱中症対策にもよくよく配慮しながら、安全・安心な学校生活を目指していきます。さて、前々回の第2号で、教育目標の「なかよく かしこく たくましく」について、詳細に紹介しました。今回は、その実現を目指す手立て(方策)の説明、1回目です。

## 社会性の基礎・基本を育成していく！ ～主体的に他者と協働していく力をつけていく～



上記のグランド・デザインは、令和4年度までの3年間で目指す本校教育を表現したものです。「小学校は何をすることで」と聞かれたら、私は「社会性の基礎・基本を育成する場」、「学力を保障する場」の2つであると答えます。今回は、社会性を育成する手立てを紹介し、私は小学校でめざす社会性を「主体的に他者と協働できる力」と捉え、これから3年間、座安小学校が社会性を育成するために目指す重点目標としまし

- た。具体的に目指す課題(方向)は図の真ん中左に記載されている2つの○です。
- 学級集団にルールが内在化し、共有され、子ども同士の関わり合いや発言が積極的に行われている。(訳: 学級のみなが納得できるルールがあり、子ども同士が仲良く話し合える)
  - すべての児童相互が普遍化信頼に基づき、主体的に生き生きと活動している。(訳: 子ども達どうしが、良いところも悪いところも認め合い、自分たちが納得できる活動をしている)

教育用語は一般の人には難しいので、私なりに訳してみました。これは、ご家庭でも目指してほしいことです。2つを家庭用にすると以下ようになります。

- 家族のみんなが納得できるルールがあり、家族が仲良く話し合うことができる。
  - 家族全員が良いところも悪いところも認め合い、納得できる行動(活動)をしている。
- どうでしょうか? や~なれ~ふか(学校)なれ~です。連携して、主体的に他者と協働できる力を育成していければと思います。

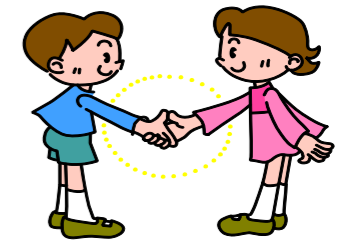
### 【今年度取り組む手立て(方策)は?】

上記の2つの課題を実現していくために、今年度取り組む手立て(方策)について教職員全員で話し合いました。以下に要約して掲載します。

#### <主体的に他者と協働していく児童を育成していくために>

##### ①実態把握(何が問題か? 何に視点を当てるか?)

- 友人関係(特に言葉づかいに問題がある)
- クラスのルールが不徹底
- 教師や子ども同士の話を最後まで聞けない。



##### ②その改善のための手立ては?(【全職員で】何を必要とするのか?)

- 「聞く(聴く)こと」を十分意識して児童と接する、対応する。
  - 多くの職員(まず学年全体)で児童を認める指導を通して、自己有用感の育成に努める。
  - 居心地の良い学級にするためのルールづくりとわかる授業づくりに邁進する。
  - 児童へ言葉づかいの手本【見本】となるよう、全職員自らの言葉づかいをより良くする。
- ※他に「あいさつ指導の充実」「目的を持って働くこと」等々に向けた取組も職員から上がり、計画的に取り組んでいきます。

## 毎日の授業参観から…!

校長の一番の仕事は、子ども達や先生方の良さを見つけ、伸ばすことです。そのためには、毎日の授業参観は欠かせません。授業参観から見える子ども達や先生方の良さを少しだけおすそ分けします。

